

# 平成13年度事務事業評価表

課長	担当

担当	産業環境部	清掃課	ごみ減量資源担当	内線等	8007
----	-------	-----	----------	-----	------

事業コード		事務事業名	資源回収団体育成奨励金交付事業
根拠法令等	蒲都市資源回収団体育成奨励金交付要綱		Dその他

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

人と自然が共生する潤いのあるまちづくり	廃棄物
---------------------	-----

事務事業の内容

対象	おおむね10人以上の団体に
手段	奨励金を交付することによって
想定する成果	資源の有効利用の大切さの啓発と市が回収する資源ごみの減量を図る。

事業の概要

項目	平成12年度実績	平成13年度実績	平成14年度計画
奨励金	11,446,100円	11,670,200円	14,622,000円
回収量	2,670トン	2,182トン	2,670トン
実施団体	65団体	50団体	65団体
全体回収量	7,690トン	7,500トン	7,690トン

目標値

成果指標名	資源ごみの団体回収率
成果指標の説明	団体回収量 / 全体回収量 × 100

事業の進捗状況

		平成12年度決算	平成13年度決算	平成14年度予算
目標値	計画			34.7%
	実績	34.7%	29.1%	
事業費	事業費	11,918,240	12,000,300	14,984,000
	人件費	857,200	835,800	849,700
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	12,775,440	12,836,100	15,833,700
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	12,775,440	12,836,100	15,833,700

事務事業内容の評価

項目	課内評価点数	部長評価点数	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	新聞、雑誌、ダンボールが逆有償となった為、回収量が減った。
効率性	3	6	ここ数年、同程度の経費を投入しているが、回収量が伸び悩んでいる。
公共性	10	10	市が回収する代わりに、団体が回収する事業に対する奨励金補助として適当
緊急度	10	10	継続的に毎年実施すべき事業である。
小計	26	29	
市民参加度	3	6	説明会を行い団体の意見を聴取している。
合計	29	35	
総合評価	B	B	逆有償のため、回収量が減少傾向にあるが、資源の有効利用の啓蒙活動として、又、ごみ処理経費を軽減する意味においても必要な施策である。

これまでに実施した改善点

達成度	逆有償となった物には、奨励金単価の上乗せを行い回収量の減少をくいとめている。
効率性	
公共性	
緊急度	
市民参加度	説明会を開催して、団体の参加を呼びかけている。

今後の改善すべき点

達成度	参加団体を増やすことによる回収量の増加をめざす。
効率性	市収集における委託料を削減できるよう、団体回収を増やす方策を検討したい。
公共性	
緊急度	
市民参加度	ごみ減量は、市民の協力なしに進まない、団体参加の増加と意見の集約をめざす。